

むらはし



第39号

発行日 令和2年9月1日

題字・持田日勇貫首貌下

発行所： 千葉県茂原市茂原 1201
日蓮宗： 東身延 本山 藻原寺
T E L： 0475-22-3153
発行責任者： 増田 寶泉 総務執事

日蓮大聖人大銅像建立 浄財勧募中



日本一の日蓮大聖人の大銅像を

建立致します。

当山の檀信徒並びに

各寺院の御住職、檀信徒の皆様方、
銅像建立に賛同していただいける
方々のご協力を心よりお待ちしてい
ます。

お早めにお申し込み下さいますよう
お願い申し上げます。

貫首様のお言葉



身延山久遠寺での執務に当たつて

「もばら」第三十八号を出したのは、平成三十年十一月一日ですから、一年半余が経つてしまいました。

平成三十年八月一日に、身延山久遠寺の「総務」に就任いたしました。

身延山は法華經を信仰する全ての人の祖山（故郷）であり、日蓮宗の總本山であります。

身延山の住職は「法主」といつて、日蓮宗の最高の僧職ですが、総務はその補佐役で身延山の寺務全般を統理します。

統理と言う言葉は難しい言葉で統率（一団

の人々を自分の意思通りに行動させる）と総理（全体に関する最も重要な業務を処理すること）の造語です。久遠寺は法

務部、布教部、庶務部、財務部と本願人会

・百万人講事務局、輪番事務局という四部・二事務局で寺務を処理してきました。私が総務に就任して平成三十一年四月に共栄部を作り、本願人会・百万人講事務局を

その中に包含し、また輪番本部事務局は法務部の中の一部局としましたから五部体制で百二十人の役職員で運営しています。

久遠寺は身延山学園といふ学校法人を持つています。身延山学園は身延山大学と身延山高校を経営しています。

一五五六年に創立された僧侶教育機関「西谷檀林・善学院」が発展して、昭和二十三年に高等学校が、昭和二十四年に短期大学が設立されました。短期大学は平成七年に大学に昇格しました。

身延山の住職は「法主」といつて、日蓮宗

の最高の僧職ですが、総務はその補佐役で身延山の寺務全般を統理します。

統理と言つては難しい言葉で統率（一団

の人々を自分の意思通りに行動させる）

と総理（全体に関する最も重要な業務を処理すること）の造語です。久遠寺は法

務部、布教部、庶務部、財務部と本願人会

任十二名、非常勤十三名、職員は専任二名で、教師が補っています。総本山で修行する三十七名の高校生、大学生の教育のため欠かすことが出来ない施設です。

久遠寺は身延山病院を持っています。身延山病院は昭和二十一年に設立した財團法人「一乗病院」を昭和二十六年に改称したものです。これも総務としての職責で理事長をしています。

医師九名、医療技術者十五名、看護師五六名、看護補助者二十二名、事務員その他二十一名、計百二十三名で八十床の病床を以て運営しています。

また身延山福祉会といふ社会福祉法人を持つています。昭和五十五年に開設し、本年は四十周年になります。その理事長も兼務しております。身延山福祉会は介護老人福祉施設「みのぶ荘」、養護老人ホーム「功德会」、ケアハウス「みのぶ」、グループホーム「のぞみ」、介護老人福祉施設「みのりの里いいとみ」介護老人ホーム「みのりの里まるたき」を経営していますので、その職員数は百四十五人です。

身延山大学は学生数八十一人です。

教員数は専任二十二名、非常勤四十三名、職員数は専任十一名、嘱託四名という日本で一番目に小さい大学です。

身延山高校は生徒八十六名です。教員は専

その外、墓地の経営をする身延山聖園という財団法人があつて、その理事長ですし、株式会社「お札所せいしん」の唯一の株主、株式会社「身延山ロープウェイ」の筆頭株主でもあります。

七面山や奥の院の監理も致します。

身延山の日常は朝の勤行から始まります。

朝四時に起床して、身を整え、五時に法衣を着て、五時十五分に行列を組んでお題目を唱えて本堂まで行きます。

五時半開式、声明（道場偈、三宝礼）、開經偈、読経（方便品十如是、自我偈、神力偈）身延山御書拝読、唱題、回向、四誓、導師挨拶、声明（三帰、奉送）閉式、退堂します。

次に祖師堂に行きます。祖師堂では、法華經一部經を三十四回に分けて読誦します。早足程度の速度で御經を読みます。その後日蓮聖人の御遺文を拝読します。日蓮聖人が残されたもの全てを約三年半掛けて読みます。その後回向、祈願して終わります。更に三ヶ所で御經を上げるため三方に別れます。

総務は総務寮の学生と法主寮の学生を連れて御真骨堂にて法味を言上します。法喜寮と清風寮の学生は二手に分かれて、一方は担当部長と供に仏殿で御經を上げて特志者の御回向をします。他方は別の部長と供に納骨堂で御供養の御経を上げます。

全体が終わるのは七時十五分位です。その後食堂で朝食を取ります。

学生達は七時四十分ころには朝食を終わり掃除をします。身延山は諸堂があつて、そぞれ広いものですから掃除が大変です。その後高校や大学に行きます。一日中授業があるわけではありませんから、昼食は本山に戻ってきて、食堂で食べますし、十二時からの昼勤法要、三時からの夕勤法要に当番を決めて参加します。

今はコロナ禍で団体参拝が殆ど無く、輪番奉仕は少なくなっています。

昨年度は四百七回ありました輪番奉仕も本年度は四月は〇回、五月も〇回、六月は一回、七月は一回でした。

七月は藻原寺のお檀家有志が輪番奉仕をして下さつてありがとうございました。

また新興教団も団体参拝をして下さいます。

この輪番奉仕の委嘱は殆ど法主がなさいます。

輪番奉仕はお祖師様がお亡くなりの後、六老僧というお祖師様がご指定なさった六人の高弟と中老僧というそれに継ぐ僧侶十二人、計十八人が六老僧一ヶ月、中老僧一人で一ヶ月、それぞれ順番を決めて輪番でお祖師様のお墓を護つた故事によります。

しかし、七百五十年前は馬の他に乗り物は無い、それぞれ鎌倉、千葉、静岡等で布教活動をしていて、一ヶ月交替で歩いて身延まで来て輪番給仕をすると云うことは大変なことです。やがて六老僧の第三席富士日興上人と第四席茂原日向上人が常駐して護持に当たっていましたが、宗祖七回忌の時に波木井実長公の要請と六老僧中四人の推薦を以て藻原寺第二世日向聖人が身延山第二世の法燈を継ぐことになります。

日蓮宗と身延山は六百年以上絶えていたこの輪番奉仕を戦後復活させました。更に身延山總登詣を奨励していきますので各寺院の参拝が多くなりました。

中でも仏所護念会は五月から七月にかけて金、土、日曜に各四百人位計一万五千人以上の信徒が参拝していました。靈友会も立正佼成会もその他法華經信仰教団も参拝に見えていました。

今年は仏所護念会が七月から九月まで人数を半分に減らしても団体参拝して下さっています。有難いことです。

各新興教団の団体参拝の折りには御經頂戴と挨拶をしますが、法主以下総務、各部長（執事）が手分けして行います。

また特別法要として身延山にお骨を預ける時の法要、その靈位の年回法要等を行なつておりますが、殆どは各部長（執事）が行います。

総務は日常の朝勤の導師以外は昼勤、夕勤法要、特別法要の導師はしませんが、来山の方々との面会や、各部長との決裁事項の打合せ等が多く閑がありません。

身延山は平成三十一年の新年度即ち四月一日から共栄運動を始めました。第九十世法主岩間日勇上人が「共に生き、共に栄え

る」ことを信行の指針としておりました。

九十二世現在の法主内野日總上人もこの言葉を大切にしています。それで身延山のこれまでの布教運動の方法と目的として共生・共栄を図ることにいたしました。

国の制約、人種の差別、宗教の相違を超えて対話を重ね、共生できる未来を目指す。

まず信仰を同じくする人々が共に手を携えて、共に生きる、共に助け合つて共に栄える、そのためには共栄運動を展開することに致しました。そして、その母体として「共栄との会」を創りました。

身延山としては「本願人会」という久遠寺

を支える組織があります。その組織は残りますが、会員は「共栄との会」の会員に

自動的になつていただく。更に「百万人講」という寄付受け入れ窓口がありますが

その寄附者を「共栄との会」に入会して頂き、組織化したいと考えています。

そして身延山の目指す方向や企画する事業に協力をして頂き、厚い信仰を深めて頂きたいと考えています。

今は来年の九月末に行なう日蓮聖人御降誕八百年慶讃身延法要をどう奉行するか、布

教事業として「日蓮の宇宙・曼荼羅世界」という日蓮聖人の生涯を描いたオペラの全国公演について方策を講じております。

身延山は靈山淨土ですが、日蓮聖人は印度の靈鷲山は日本の身延山であると説かれました。「墓をば身延山に建てるべし。未来に亘つて心は身延山に在るなり」とおっしゃいました。

私達法華經の信奉者は亡くなつたら身延山の上空の虛空会でお釈迦様と日蓮大聖人にお会いし教えを受けるのです。

是非生前に一度は身延山にお参りしていただきたいものです。

「愛される身延山」「共に生き、共に栄える身延山」を創るために日々努力をしております。

そのため藻原寺に帰るのが一週間に一度程度で、大聖人の銅像建立が止まつていて慚愧に堪えないところです。

しかし未来に希望を持つて、コロナ禍に負けることなく精進していくつもりでおりま

す。宜しくご支援下さい。

行 事 記 録

お会式

令和一年十一月九日

御頭講会

令和二年一月十一日

秋季彼岸会

令和一年九月二十三日

令和二年の御頭講会を、当山貫首持田

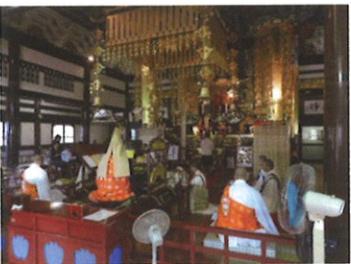
当山貫首持田日勇猊下を大導師に、午前十時より令和一年秋季彼岸会を厳修致しました。初彼岸を迎える遺族や総代、世話人、常在講、柔和会の会員が参列し、共に供養の祈りを捧げました。

秋季御更衣式

令和一年十月一日

明かりに照らされた厳肅な雰囲気の堂内で、日蓮大聖人への報恩感謝の御題目が響きました。

当山貫首持田日勇猊下を大導師に午後一時より秋季御更衣式を厳修致しました。読経中堂内の灯りが消され、宮殿の御簾が下ろされました。その後、冬衣になりました。日蓮大聖人が御開帳されました。



お会式

令和二年の御頭講会を、当山貫首持田

日勇猊下を大導師に大堂にて厳修致しました。御頭講会は日蓮大聖人に謹んで御年賀を申し上げる新春の行事です。回向の後、御宝前で松本勇子師匠による『泰平おどり』の舞が奉納されました。

節分追儺会

令和二年二月三日

当山貫首持田日勇猊下を大導師に午後三時より節分追儺会を厳修致しました。参加した約五十名の歳男福女は福禄倍増年中無難の祈祷を受けました。法要後は桟敷より豆撒きを行い、「福は内」の掛け声で参拝者に福を分け与えました。

東日本大震災慰靈法要

令和二年三月十一日

当山貫首持田日勇猊下を大導師に午後二時より東日本大震災慰靈法要を厳修致しました。和讚会の震災追悼和讚が奉納され、震災物故者の冥福を祈りました。

あわせて本年度日蓮宗大荒行修行僧五名出仕による国祷会を厳修致しました。水

行で身を清めた修行僧が国家の安寧安泰を祈りました。山務員の富永一真上人、渡邊義恭上人の二名が入行、成満しました。

春季彼岸会

令和二年三月二十日

午前十時より当山貫首持田日勇猊下を大導師に春季彼岸会を厳修致しました。今回初彼岸を迎える遺族、総代世話人と共に供養の祈りを捧げました。



一万遍お題目修行

令和二年三月二十九日

当山貫首持田日勇猊下を大導師に十時より五時迄一万遍お題目修行を開催致しました。十三名名の参加者と共に修行致しました。合わせて新型コロナウイルス早期終息を祈りました。

花祭り

令和二年四月五日

当山貫首持田日勇猊下を大導師に釈尊降誕会を厳修致しました。本年は新型コロナウイルス感染防止の為、天童稚児の参加を見合わせ、当山役員を中心に行法を営みました。釈尊の御降誕をお祝いし、合わせてコロナウイルスの早期終息を祈りました。恒例の花まつりコンサートは中止いたしました。

貫首様は法話で「このようなときこそ祈りが大事です。」と話しました。

春季御更衣式

令和二年五月一日

当山貫首持田日勇猊下を大導師にお更衣式を奉行いたしました。新型コロナウイルス対策として暗幕をせず窓を開けての法要となりました。夏衣に変わった日蓮大聖人が御開帳されました。

お題目初唱会

令和二年五月九日

当山貫首持田日勇猊下を大導師にお題目初唱式を厳修致しました。世情を鑑み市内唱題行脚は中止し、大堂での法要のみとなりました。祖師への報恩感謝と新型コロナウイルスの病魔早期終息を願いお題目をお唱えしました。

ホウロク灸

令和二年七月二十一日

土用の丑の日にあたる七月二十一日に

ホウロク灸が行われました。

参加者はホウロクを頭に被り、もぐさに火をつけ熱いお灸で頭頂のツボを刺激し読経と偏頭痛・暑気頭痛、虫封じの加持祈祷で夏を乗り切る力を頂きました。

盂蘭盆施餓鬼会

(令和二年八月十五日)

した。



日蓮大聖人銅像寄附奉納者一覧

三十
万円

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

行
事
案
內

九月二十一日(火) 十時

秋季彼岸会

十二時

向尊殿大祭

十四時

宗祖御更衣式

十七

徵會式

四十一

お焚上げ、
除夜鐘

新年祝祷会

九時

新年祝祷会

九時

新年祈願会

人の日

十一時

御頭講会

節分豆撒会

合計金額 五百五十三万二千円
総計金額 二億九千八百四十四万一千円

一般奉賛者	河嶋	文子殿	一万円	一般奉賛者	渡部	廣美殿	
一般奉賛者	川原	健二殿	"	一般奉賛者	鳥居塚由香利	殿	
一般奉賛者	川原	宏美殿	"	一般奉賛者	興田	美由紀殿	
一般奉賛者	齊藤	俊男殿	三千円	一般奉賛者	北村	定満殿	
一般奉賛者	清水	幸夫殿	"	一般奉賛者	平野	殿	
一般奉賛者	杉山	英昭殿	"	一般奉賛者	堤	伸光殿	
田中屋旅館	田中屋旅館殿			一般奉賛者	国安	俊清殿	
一般奉賛者	戸頃	政明殿	"	一般奉賛者	見通	潤一殿	
一般奉賛者	七田	肇殿	追加申込者	一般奉賛者	白井	宗一郎殿	
一般奉賛者	長谷川	和則殿	追加申込金	一般奉賛者	佐藤さん	を偲ぶ会	
一般奉賛者	長谷川	竜嗣殿	申込金額合計	一般奉賛者	岡本	片岡	
一般奉賛者	平山	竜巳殿	五十万円	一般奉賛者	高波	信男殿	
一般奉賛者	平山	勝繁殿	百五十万円	一般奉賛者	光宏殿	節子殿	
一般奉賛者	安田	ルミ殿	四万五千円	一般奉賛者	吉野	和代殿	
一般奉賛者	山口	勝彦殿	二万円	一般奉賛者	鎌田	克彦殿	
一般奉賛者	山野	フミ子殿	五万円	一般奉賛者	章男殿	郁子殿	
一般奉賛者	"	"	三万円	合計金額			
一般奉賛者			円	総計金額			
一般奉賛者			円	二億九千八百四十四万一千円			
一般奉賛者			五百五十三万二千円				

追加申込金
申込金額合計

五十万円 百五十万円 白井 宗一郎殿

四万五千円 二十八万円

三万円六万円
浅野信男殿

二
万
円
五
万
円

一
万
四
三
万
四

一ノ田三万円

一一
円三万円
高波光宏殿

合計金額
五百五十三万二千円